

霧島

広報きりしま

6
June.2011
VOL.122

Kirishima City Public Relations, Japan
2011.6.7発行 VOL.122

Special Feature
長崎県島原半島に於ける
火山との
共生を目指して

霧島 広報きりしま

発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市重富中央三丁目45-1 Ⅱ/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メール/アドレス/E-mail info@city-kirishima.jp
編集/秘書広報課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/重富分新生社印刷

PRINTED WITH
SOVINK

広告

写真であげる結婚式

Photo Bridal

- ★撮影技術料1ポーズ
- ★六切写真代(台紙付)
- ★衣裳
(撮影時レンタル代)
- ★ヘアセット、メイク、
お支度



※写真はイメージですのでセット内容とは異なります。

ウェディング
ドレスコース **44,800円~** (税込)

花嫁白打掛コース **69,800円~** (税込)

(※平日特別価格 多数の衣裳の中から選べます)

七五三・七草の 当日♥楽ちんプラン

レンタル代・ヘアメイクセット・着付け
撮影技術料 1ポーズ
六切写真代(高級台紙付)

七五三	3才女子	22,000円 (税込)
	3才・5才男子	21,000円 (税込)
	7才女子	25,000円 (税込)
七草	男子	21,000円 (税込)
	女子	25,000円 (税込)

神宮であげる結婚式

Japanese Style Bridal

- ★撮影技術料 1ポーズ
- ★六切写真代(高級台紙付)
- ★衣裳
(神宮へのお出かけのレンタル代)
- ★ヘアセット、メイク、
お支度
- ★鹿児島神宮までの花嫁様
・花嫁様の送迎



99,800円~ (税込)

(※平日特別価格 多数の衣裳の中から選べます)

七五三・七草



その2 8月までに撮影されますと
撮影料 平日 **30%OFF**
土日 **25%OFF**

その3 9月に撮影されますと
撮影料 平日 **20%OFF**
土日 **15%OFF**

その4 10月に撮影されますと
撮影料 平日のみ **10%OFF**

その5 撮影用衣裳はいつでも **無料**
(一部衣裳をのぞく)

フォトスタジオ光輝の お得ポイント

その1 七五三・七草の当日レンタル衣裳を
9月30日までに決められますと

30着以上
常時展示中 **20%OFF**

思い出作りにお手伝い
一級写真技能士の店

フォトスタジオ光輝

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田二丁目2-11

隼人駅前通り



0120-68-0331

TEL 0995-42-0331(代)

FAX 0995-42-0236

IP 050-3540-4311

Wedding 婚礼

専門スタッフが
ご相談に応じます。
あなたの思い出
作りにお手伝い



住民が一丸となり、火山を学び、火山の恩恵に感謝

火山との共生を目指して



写真：長崎県雲仙・普賢岳の火砕流。平成2年から約5年間続いた噴火活動で約1万回の火砕流が発生



火山灰が島原市を襲う。写真右下の城は島原城



普賢岳から流れ落ちる真っ赤に燃えた火砕流



土石流により島原市の道路は寸断

大きな噴火活動も減り、小康状態にある新燃岳。しかし依然、警戒レベルは3のまま。今後火山とどのような向き合い、暮らしていけばよいのでしょうか。そこで今回は、約20年前の雲仙・普賢岳噴火により大きな被害を受けた長崎県雲仙市と島原市の復興への軌跡の中から、火山との共生の可能性を探ります。

島原市と南島原市、そして霧島市と姉妹都市の雲仙市がある長崎県島原半島。そのほぼ中央には雲仙国立公園があり、春にはミヤマキリシマ、秋には紅葉などを楽しむことができます。周辺にはたくさん温泉が湧き出ており、多くの観光客が訪れます。

平成2年11月、島原半島を大きな危機が襲います。198年ぶりに雲仙・普賢岳が噴火、その活動は約5年半続きました。大きな被害を受けたのが島原市と南島原市の旧深江町。相次ぐ土石流や約1万回の火砕流の発生などにより、多くの住民が避難生活を余儀なくされました。特に平成3年6月3日に発生した大火砕流では、43人も尊い命が奪

われました。

風評被害

普賢岳を挟んで島原市の反対側に位置するのが雲仙市の旧小浜町です。普賢岳は小浜町にありますが、地形的な状況から噴火の実質的な影響はほとんどなく、たまに火山灰が降るぐらいでした。しかし思いがけない被害が町を襲います。風評被害です。

旧小浜町には雲仙温泉と小浜温泉の2つの観光地があり、噴火前には年間約130万人を超える宿泊客が訪れていました。しかし噴火以降、「雲仙で大火砕流」などと報道され、被害はなくても危険な場所と勘違いされ客足が途絶え、平成3年には宿泊者数が前年より35万人も減りました。

雲仙観光協会事務局長の秀山裕史さんは「噴火したころは、少し噴煙が上がるくらいだったので、全国から多くの見物客が訪れ、新しい観光名所ができた」と喜んでいました。しかし平成3年6月3日の大火砕流で大勢の方が亡くなり、それを境に観光客が激減しま

した。毎日鳴り響く予約キャンセルの電話の音が怖かったです」と当時を振り返ります。予約キャンセルは観光だけでなく、さまざまな産業にも影響を与え、小浜町は最大のピンチを迎えます。しかし諦めませんでした。「噴火でお客さまのありがたさを改めて感じました。必ずお客さまに来てくれる、その時にこれ以上で以上のサービスを提供したい」と思い、スタッフのマナー研修会などを開き、復興を信じ必死に耐えました」と秀山さんは話します。

復興に向けて

小浜町が復興へ向けて動き出します。平成3年8月17日、草野壬二郎小浜町長（当時）が国際観光温泉地「雲仙」・「小浜」としての活動を復活する「経済活動復興宣言」をします。これを契機に、観光協会や旅館組合などが他県で観光宣伝をしたり、長崎県出身のタレントに協力をもらったりして、町の安全と観光をPRします。住民も小浜町の宣伝が

載ったはがきを使い、全国の知人に暑中見舞いを送るなどしました。こうした地道な活動により、少しずつ観光客が戻ってくるようになりました。当時、小浜旅館組合の宣伝部長で、現在おばま温泉観光協会副会長の町田康則さんは「注目してもらうために、みんながいいことをしようと決めました。夏には避難生活を送る島原市の子どもたちを小浜のプールに送迎付きで招待しました。こういった活動が少しずつ紹介され、いつも通り元氣だということのアピールできました」と話します。

助け合い

小浜町では島原市と深江町の避難者の受け入れもしました。観光客が減って部屋が空いていた旅館などで、小浜温泉で延べ約4万5000人、雲仙温泉で延べ約2万2000人。被災者にとってはゆつくり温泉につかり、おいしい食事もできてひとときの安らぎを感じることができました。旅館関係者も、格安の料金ではありましたが、宿泊料を県

などが負担してくれて収入を得ることができました。

町田さんは言います。「危機に陥った時に大切なのは、どれだけみんなが一つになり、助け合えるか。小浜町も本当に苦しかった。でも島原市や深江町の被災者はもっと苦しかったはず。だから私たちにできる支援をしました」。

こうした活動が紹介され、町には全国から義援金や物資、励ましの手紙が届きました。そしてもう一つうれしいことが。遠くは北海道など全国の観光関係者がツアーを組んで来てくれました。住民の町を愛する気持ちと、全国からの支えによって小浜町は風評被害を見事に克服し、そして復興しました。



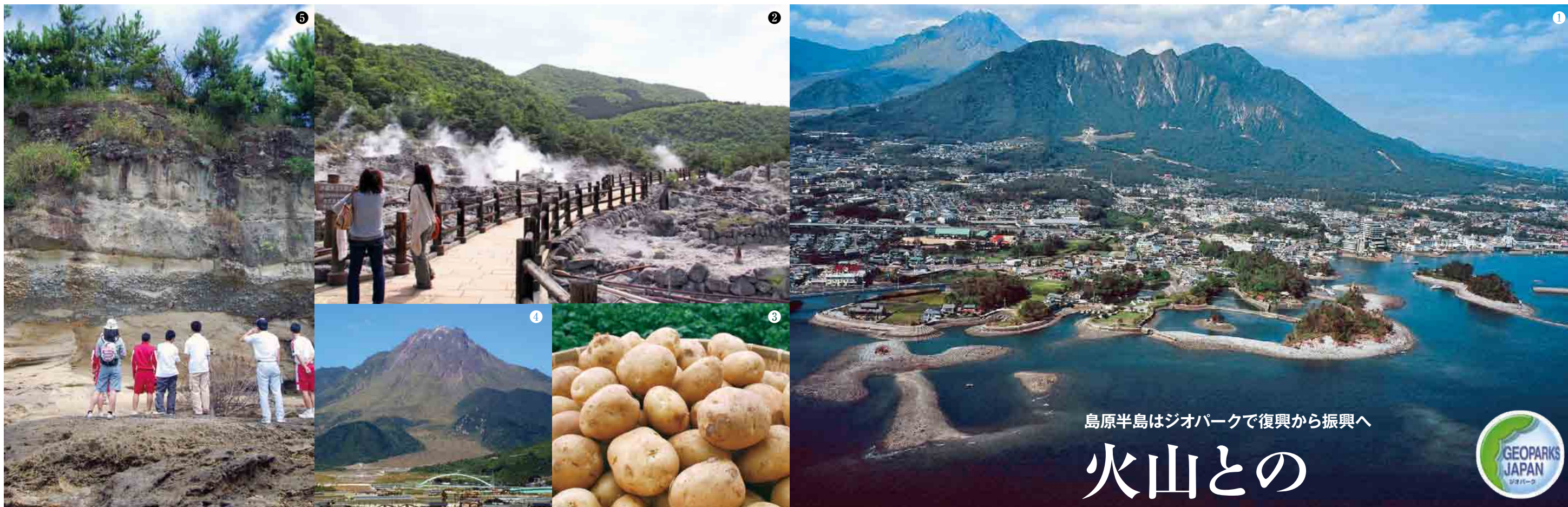
雲仙の春のミヤマキリシマ



おばま温泉観光協会副会長 町田康則さん



雲仙観光協会事務局長 秀山裕史さん



①1792年の島原大変で知られる眉山崩壊の生々しい崩壊壁。独特の景観を作り出す ②雲仙温泉の名所の一つに、30あまりの地獄をもつ雲仙地獄がある。岩間からは真っ白い水蒸気が噴き上げている ③島原半島特産品のジャガイモが収穫される大地も火山の恵み ④平成3年から続いた雲仙・普賢岳の溶岩噴出によりできた平成新山 ⑤およそ50万年前から活動を始めた雲仙火山。その最初に噴出した地層を龍石海岸では観察することができる

島原半島はジオパークで復興から振興へ

火山との 共生のカギは ジオパーク



雲仙・普賢岳の噴火で一番被害が大きかった島原市や深江町では、復興のために被災地を防災観光に役立てる構想がスタートしました。火山を抱えるまちとして防災をどのように考えるべきか、火山の恵みをどのように生かすか、行政だけでなく住民も一緒になって専門家に学びました。

まちが一つに

全国からたくさんの方の支援が届き、元気を取り戻していく島原市。平成14年には日本で唯一の火山体験ミュージアム「雲仙岳災害記念館」が完成し、国内外から多くの観光客が訪れるようになりました。そして平成19年11月には火山都市国際会議が開かれます。世界中から火山の専門家が集まるこの会議、それまでは世界各地の大都市で開かれており、人口5万人の島原市で開催するのは冒険でした。同会議を担当した杉本伸一さんは「島原が元気を取り戻したことを、ご支援くださった全国の方に知らせたくて開催しました。初めてのことで準備は難航し

ましたが、多くの住民がボランティアで協力して、あのときは、まちが一つになったように感じました」と話します。

ジオパークを目指して

成功した杉本さんたちの挑戦。しかし、その情熱はそれだけでは収まりませんでした。国際会議でたくさんの方の火山学者と知り合った杉本さんは、そこでジオパークを知り、「島原の火山の恵みと豊かな自然をジオパークにしたい」と新たな挑戦が始まります。

まず取り組んだのがジオパークの素晴らしさを伝えること。地域や学校などに出向き、直接ジオパークについて紹介して回りました。次に島原半島の全ての魅力をジオパークにするために、雲仙市や南島原市に協力を依頼します。

こうした活動により、平成20年10月20日、島原半島ジオパークは日本ジオパークに認定されます。豊かな自然はもちろんのこと、平成19年に行われた火山都市国際会議での住民の活動も高く評価されて

の認定でした。これによりさらに機運は高まり、平成21年には日本で第1号となる世界ジオパークへの加盟が決まります。ジオパークには地形・地層だけでなく、その恵みを受けて生活する人々の暮らしや歴史も含まれます。まさに、島原半島に生きる全てが一つになってつかんだ奇跡でした。

ジオパークの可能性

島原半島のさらなる復興のために、杉本さんはジオパークの可能性を訴えます。「島原半島は皆さんのおかげで復興することができました。しかし、それで終わってはいけません。復興から振興へ、そのためには火



ジオパーク国際ユネスコ会議
事務局長
杉本伸一さん

山との共生が必要です。火山を学び、防災を学び、恵みを学ぶ、その全てがジオパークにはあります」島原半島では来年5月、ジオパーク国際ユネスコ会議が開かれます。杉本さんは現在、その事務局長をしており、この会議に大きな期待を寄せています。

「来年は、世界中から多くの学者や専門家が集まります。日本のジオパークの素晴らしさをPRするチャンスです。海外から来た人は1カ所のジオパークだけを見ることはありません。九州でジオパークネットワークを作り、例えば飛行機で長崎に来て島原・阿蘇・霧島のジオパークを見て鹿児島から飛行機で帰るようなルートができれば、もっと世界中に九州のジオパークを宣伝できると思います」

霧島も昨年、日本ジオパークに認定されました。火山と共生していくために、そして海外に霧島をPRするためにも、霧島全体でジオパークへの関心を高める必要があります。



長崎県 島原半島に学ぶ
火山との共生を目指して

電機やチェーンソー、スコップ、ヘルメットなどの防災グッズも備えられていました。

一 防災訓練で学ぶ

鹿児島県総合防災訓練が5月26日、牧園町の霧島高原国民休養地をメイン会場に開かれ、消防や県警、自衛隊、県内の自治体など76団体約1400人が参加しました。訓練は新燃岳が爆発的噴火を起し、大きな被害が出たことを想定して行われました。

ホテルや介護施設、保育園などでは地域住民なども参加して避難訓練が実施され、メーン会場では電気やガス、水道などの復旧作業や自主防災組織による初期消火訓練などが披露されました。訓練の最後には、倒壊した建物から負傷者を助け出す本番さながらの救出救護訓練もありました。初期消火訓練に参加した高千穂地区自主防災組織の中村信男さんは「昨年、自主防災組織を作りました。今日の訓



高千穂地区自主防災組織
中村信男さん(60)

練で初めてバケツリレーをしましたが、思うようにいかず、日ごろからの訓練の大切さを実感しました。これからはもっと防災意識を高め、みんなと一緒に地域を守っていききたいと思います」と意欲を燃やしていました。

一 島原半島から学んだこと

島原半島は噴火による危機的な被害から、団結力と全国からの支援で復興しました。住民の強力なバックアップにより、日本で最初の世界ジオパークに選ばれ、復興から振興へ進んでいます。そして、あのときの悲劇を繰り返さないために、住民みんなが防災への意識を強く持ち、火山の恵みをしっかりと生かしていました。火山との共生“そ

のためには、そこに暮らす全ての人が一つになって、火山を学ぶことが大切なようです。新燃岳の噴火は、私たちに火山の怖さを教えてくれました。そして同時に、火山を見直す機会を与えてくれました。これからは霧島山と共に暮らしていくためには、火山を学び、防災を学び、そして恵みに感謝することが必要です。きっとそれが、このまちを復興、そして振興へと導いてくれるはずです。



いのりの日/島原市では大火砕流で43人の尊い命が犠牲になった6月3日を「いのりの日」とし、地域や学校で慰霊祭などさまざまな催しを開催(写真/いのりの灯。災害復興記念館自主事業で開催。災害を風化させないよう子どもたちを対象にキャンドル点灯などを行っている)

防災訓練という非日常を日常にしていこう努力 防災を学び 安心して 火山と生きる

火山と共生していく上で忘れてはいけないのが、火山は生きているということです。島原半島の住民は噴火によって苦しみました。しかし、たくさんの温泉や清らかな水が湧き出る島原湧水群、特産品のジャガイモが取れる大地など、それら全てが火山の恵みによるものであり、人は火山の恵みによって生かされています。被害よりも恩恵を受けている期間が長く、その中で暮らしているうちに人は火山の怖さを忘れてしまうのかもしれない。

島原市では火山の怖さを忘れないために、大火砕流で43人が亡くなった6月3日を

「いのりの日」とし、毎年、地域や学校で慰霊祭や火山学習などを開いています。

一 防災を考える

雲仙市と島原市が復興のために力を入れたのが防災でした。講習会やシンポジウムを開き、住民みんなが防災について学びました。おばま温泉観光協会の町田さんは「安心・安全なまちじゃないと観光客は来てくれません。行ってみたいまち、住みたいまちにするには、火山を学び、一人一人が防災意識を高めることが必要」と話していました。島原半島では自主防災組織の活動が活発です。小さな災



火山学習と観光に生かすために、土石流で埋まった家屋を保存し展示している



自治会で防災グッズを揃え、いざというときに備えている

害なら周りが助けてくれますが、大きな災害になるとみんなが被災者であり、助ける余裕はありません。そこで注目ののが自主防災組織。しかも、地域の中で助け合える仕組みを作り、防災訓練などを重ね、いざというときに動ける自主防災組織の結成でした。雲仙市小浜町の平松自治会では毎年、さまざまな災害を想定した防災訓練を実施しており、住民のほとんどが参加しています。災害に備えて発

霧島市民の皆さまへ

伊藤祐一郎知事からのメッセージ



新燃岳は、現在も噴火警戒レベル3が継続しており、当分の間、その推移について慎重な監視を要すると考えています。市民の皆さまには、日頃から火山の特性を知るなど自主的に火山噴火に備えるとともに、地域において相互に協力して防災対策を行うなど、自助・共助・公助の連携・協働による災害に強い地域社会の実現にご尽力、ご協力を賜りますようお願いいたします。

また、火山活動の活発化により多大な影響を受けた温泉街の立て直しに霧島市と協力して取り組んでまいりますので、皆さまのご協力をお願いします。



霧島市 災害危険箇所点検

市では、台風・豪雨時期に備えて災害危険箇所点検を5月11日、市内5カ所で行いました。去年7月3日の豪雨で甚大な被害を受けた県道60号線都城単人線関之坂(国分重久)の災害復旧工事現場では県の担当者から「早期復旧に向け工事を進めており、進捗状況は平成23年3月末でおおむね30%」と説明がありました。霧島大窪地区では、土砂が人家まで到達して家屋が半壊状態となった急傾斜地の現場も視察。

市内での災害を未然に防ぐために危険箇所と対処法の確認をしました。



地域の安心安全は 自分たちの手で

春の地域安全運動等出発式が5月11日、霧島警察署で開催されました。県下一斉に実施される「春の地域安全運動」と「春の全国交通安全運動」を兼ねての出発式に

関係者ら約100人が参加。前田終止市長は「自主防犯パトロール隊の活動により減少傾向にあった刑法犯認知件数ですが、最近自転車盗や万引きなどの事案が多発しています。地域の安全は自分たちで守るという意識が防犯につながる」と話しました。その後、高齢者と小学生が交通安全・防犯について決意を述べ、パトカー24台を大きな拍手で送りました。



福山の宮浦宮が 200年ぶりに再建

福山町福山にある宮浦宮の社殿の完成を記念して5月15日、竣工祭が開催されました。文化元(1804)年につくられた社殿が老朽化のため取り壊され、建築が進められていたもので、平成21年9月に本殿が、今年5月に拝殿と勅使殿が完成しました。宮浦宮役員総代会代表の中尾諒さんは「関係者の尽力のおかげで再建することができました。本殿は歴史ある宮浦宮の昔の形を忠実に再現した。境内には県指定天然記念物のイチヨウもあります。福山地区の新たな観光地としてたくさんの人に訪れてほしい」と話していました。

急対策の協力に関する基本協定書 調印式



災害時の 迅速な対応のために

災害時の応急対策の協力に関する基本協定書の調印式が5月18日、霧島市役所で行われました。この協定は市と県公共嘱託登記士地家屋調査士協会、県土地家屋調査士協会が、災害時に迅速かつ的確に対応するため締結したもので、県内では伊佐市に続いて2例目です。主な内容は災害復旧のための境界点情報の収集や、市が保管する施設の被災状況調査など。前田終止市長は「市民の財産を守るために有効な協定」とあいさつ。同協会の大重吉輝理事長は「専門性を生かして災害に強い霧島市をつくる一助になれば」と話しました。

す。畜産の盛んな南九州にあり、空港を持つ霧島市。陸からの侵入だけでなく、空からの侵入にも警戒が必要です。市の肉用牛振興大会のスローガンには「自分の畜産は自分で守りましょう」とあり、畜産農家は今でも防疫対策の徹底と家畜の管理に神経をこらせています。

県内一斉消毒の日

県では毎月29日(2月は9日)を県内一斉消毒の日と定めました。市は今年度も関係機関の協力を得て管内一斉消毒作業を計画しています。消毒の徹底は防疫対策の基本です。



石灰をまいて消毒作業をする畜産農家

口蹄疫から1年 発生予防、 侵入防止に努める 今もなお続く防疫の日々

このまちを守りたい

昨年の発生時は市民の皆さまのボランティアでの消毒作業や義援金など大きな力をいただきました。口蹄疫が発生してしまつと、イベント中止や観光業の低迷などさまざまな分野に影響を与えます。もしもの時は市民の皆さまの協力が必要です。一緒にこのまちを口蹄疫から守りましょう。

CIVIC NEWS



環霧島会議

環霧島会議・霧島ジオパーク推進連絡協議会開催

県境を越えた 広域連携を目指して

霧島山、ジオパークをPRするための平成23年度予算が承認



環霧島会議が5月13日、小林立市文化会館で開催されました。霧島山周辺の5市2町(霧島市、曾於市、湧水町、宮崎県都城市、小林市、えびの市、高原町)が、県境を越えた広

域連携を目指すために組織された環霧島会議。平成19年11月に発足し、「全国に誇れる霧島山を中心に、共通する課題や悩みなどについて意見を交換し、共同事業を目指そう」と活動しています。

第8回目の今回は首長、議会議員、関係者らが出席し、学校教育で役立つための教職員向け「霧島山」研修会開催や観光宣伝事業、環霧島観光マップ5万部の増刷などを盛り込んだ平成23年度予算が承認されました。

環霧島会議に助言・提言をし、イメージアップやPR活動の支援を行う環霧島大使は、引き続き原口泉志学館大学教授に委嘱。その後、環境・観光・防災・広報・教育の各専門部会から経過報告がありました。

今回の会議は霧島市で開催予定です。詳細が決まり次第広報誌などでお知らせします。

公式キャラクター決まる

環霧島会議終了後開催された霧島ジオパーク推進連絡協議会の総会では、公募していた同協議会の公式キャラクターが「キラッチ」に決まつたと発表されました。新潟県在住の三巻保征さんの作品で、山・花・噴火口そして美しい緑を表現した帽子をかぶる親しみやすいキャラクターです。

同協議会長の前田終止市長は「キラッチには、さまざまな場面でジオパークPRのために活躍してもらいたい」と話しました。

生徒自ら考え行動する学校

自主・自律で力を高める。

陵南中学校
生徒会活動



スローガンを胸に頑張る生徒会

溝辺地区にある陵南中学校は昭和22年に創立し、児童数は136人(男62人、女74人)で東は霧島連山、南に桜島を望み、雄大な景色を見ることが出来る場所です。自ら積極的に学び、思いやりの心で人と接し、粘り強く行動する確かな学力と豊かな心、たくましい体をバランスよく身に付け育成することを学校教育の目標に掲げています。

同校では弓道・卓球・野球などの部活動で優秀な成績を収めており、平成20年度には県中学校音楽コンクールで金賞も受賞しています。

自主的に考え行動

同校の生徒会では、失敗を恐れず前へ進むという意味の「Make Progress」をスローガンにしています。これまで先輩の築いてきた伝統を引き継ぐとともに、生徒会役員を中心に生徒一人一人がやる気を持ち、チャレンジ精神を忘れることなく、陵南中学校の歴史を築いていくことを目標にしています。

3月11日に発生した「東日本大震災」。悲惨な光景をテレビで見た生徒たちは「自分たちには出来ることはないか」と動き出します。節電・節水などを学校内に呼び掛け、募金活動をしました。桑畑明彦校長は「募金活動や節電・節水は生徒自ら考え実施しました。校訓である、自主・自律がしっかりと身につけてきている証拠だと思います」と生徒の成長を喜んでいました。

現在、生徒会は2年生・3年生合わせて13人で活動しています。生徒会長を経験してみて、大変なこともありますが、みんなと協力しながら日々努力し楽しく頑張っています。「東日本大震災」では本当に心が痛み、自分たちに何が出来るかなど生徒会で自主的に考え、募金活動や節水・節電にも取り組み被災地のお役にたてるように頑張っています。今後の陵南中学校を、あいさつがよくでき、毎日楽しく過ごせる学校にしていきたいと思っています。

◎陵南中学校生徒会長 3年 坂元毬乃さん



『暮らしの中に図書館を』 隼人図書館

隼人図書館は、三角屋根に白い建屋、中は木造で心落ちつく空間になっています。平成3年に開館し、さまざまな本を準備して市民の皆さんを待ちしています。

蔵書は約7万冊。新聞・雑誌・絵本・児童書・小説やエッセイなどもそろえています。玄関を入ると、まずはテーマ展示でお出迎えで、季節ごとにテーマを変え、タイムリーな本を集めて展示をしています。活動の中でも力を入れていくのが、子どもたちへの読書サービスです。月3回のおはなしの部屋、月1回の語りの部屋(毎週第2日曜日、語りの会「あもり」主催)、えほんとわらべうたの会、隼人おはなし王国、クリスマス会

などボランティアの方々力を合わせて、子どもたちへたくさんの絵本(本)が届きますように、言葉の世界が届きますようにと活動をしています。家族みんなで暮らしの中に図書館を取り入れ、遊びに来てください。



子育てに絵本を



癒やしの空間で読書を

初夏の新緑で読書が進む

国分図書館休館のお知らせ
特別整理期間のため次の期間休館いたします。
・期間=6月20日(月)~29日(水)
※休館期間中に図書の返却をされる方は、図書館入口及び歩道沿いに返却ポストを設けていますので、ご利用ください。
◎国分図書館 ☎(64)0918

隼人図書館 開館時間変更のお知らせ
夏休み期間中(7月21日~8月31日)は定例休館日の月曜日も開館します。
【開館時間】

- ・平日=午前9時~午後7時(通常は午前10時~午後7時)
- ・土・日・祝日=午前9時~午後5時(通常どおり)
- ※他の図書館(室)は通常どりの開館です

隼人図書館講座 「鹿児島のお話について」
・日時=7月8日(金)午前10時~正午
・講師=有馬英子先生
・場所=隼人図書館2階
・対象=一般
※申し込みはいりません。当日お越しください。

「かがくあそび」
・日時=8月10日(水)・24日(水)午前10時~正午
・講師=おもちゃコンサルタント「はたかなこ」先生
・場所=隼人公民館大会議室
・対象=小学校1・2年生
・定員=各20人
・内容=「光スペクトルつつをつくろう」
・申込方法=直接または電話で申し込み(先着順)7月1日(金)から受付開始
◎国分図書館 ☎(43)7574



快晴フライング
古内一絵 作

主将を交通事故で亡くし、顧問から廃部を詰め寄られる弓が丘第一中学水泳部。代表選手の大龍一は「水泳部を再建して、メドレーレーでも大会優勝してみせる」とタンカを切るが、残っていたのはダメダメな部員ばかりで…。

【オーダーメイド殺人クラブ】辻村深月、【ヘッドライン】今野敏、【異境】堂場瞬一、【天頂より少し下って】川上弘美、【逆事】河野多恵子、【象が踏んでも】堀江敏幸、【しょうがない人】平安寿子、【春を背負って】笹本稜平、【隠居大学】天野祐吉、【おかず練習帳】朝日新聞生活グループ、【子どものまんぶくごほん】コウケンテツ、【千年の森をこえて】キャシー・アッペルト、【イタチとみずがみさま】山本 孝、【おとうさんの手】まはら三桃、【土手をかけおろしう!】あんずゆき、【しろもくろも、みんなおいで】あべ弘士

イベント名	日時(対象)	場所
ほととの森おはなし会	6月11日(土)、7月9日(土)・23日(土) 14:00~14:30	
幼児と小学生のためのおはなしの部屋(りんごの木)	7月2日(土) 10:30~11:30	国分図書館 ☎(64)0918
赤ちゃんとうらべうた・えほんのへや(りんごの木)	7月4日(月) 10:30~11:00	
おはなしの部屋	6月19日・7月17日(日) 11:00~11:30(幼児・小学生) 7月1日(金) 11:00~11:30(赤ちゃん) 7月7日(木) 16:00~16:30(幼児)	隼人図書館 ☎(43)7574
語りの部屋(語りの会あもり)	夏のおはなし会 7月10日(日) 10:30~11:30(5歳位~大人)	
おはなし会(おはなしの会さんぽ道)	6月18日(土)、7月16日(土) 14:00~15:00	横川図書館 ☎(72)1596
えほん・わらべうたのへや(紙ふうせん)	7月13日(水) 10:30~11:30	霧島図書館 ☎(57)0316
おはなしの時間(紙ふうせん)	6月20日(月) 15:30~16:30	
おはなし広場	6月25日(土)、7月23日(土) 10:00~11:30	福山図書館 ☎(56)2026

「小さいころから牛乳はとも身近なところにありました」と話すのは国分重久で牧場を営む中馬誠さんです。子どものころ、食卓には牛乳があり、母親の米子さんが生乳(搾ったままで加工をしていない牛の乳)に酢やレモン汁などを加えて作ってくれた牛乳豆腐などが並んでいました。

6月は牛乳月間。牛乳にはタンパク質やカルシウム、リン、ビタミンなど多くの栄養素がバランスよく含まれています。中馬さんは「霧島産の生乳は生乳本来の甘みが強く、県内でも品質が良いといわれています。その訳は徹底した牛の管理。体調に合わせて餌を作るなど、牛の健康面に注意しています」と話します。栄養たっぷりの牛乳が私たちの手元に届くまで、酪農家の日々の努力があるのです。「中馬家では今でも牛乳は欠かせません」。そう話すのは妻



そのまま飲んでも お菓子にまぜても やっぱりおいしい



出来上がった生キャラメルをカットする莉奈ちゃん(右)とその様子を見守る倫子さん(左)、健人君(中央)



中馬 誠さん (41)

の倫子さんです。

「そのまま飲んだり、料理の隠し味にしたり。2年ほど前からは牛乳の風味を生かした生キャラメルを作っています。子どもたちにも好評で、友達に配りたいと言う息子と一緒に作ることもあります」とほほ笑みます。口の中ですーっととろけて、濃厚なミルクの味が口いっぱい広がる生キャラメル。長男の健人君と長女の莉奈ちゃんはお母さんの生キャラメルが「お母さんの生キャラメルが一番好き」と声を揃えます。お父さんの作る牛乳とそれを使ったお母さんのお菓子は二人の宝物のようです。

レシピ

愛情たっぷり、おいしい牛乳。形は違っても牛乳を使った食は受け継がれています。

＜材料＞
牛乳600cc、動物性生クリーム300cc、練乳50g、砂糖150g

＜作り方＞
① 材料を鍋に入れ、できるだけ強火を保ちつつ焦がさないように混ぜ続ける。
② 45分ほど煮詰めたら、平らな容器に流し入れ、冷凍する。
③ 固まったら好みのサイズにカットする。
※35分ほど煮詰めたものが生キャラメルクリームです。そのまま食べたり、パンやホットケーキにつけたり、お菓子作りに使ったり。アイデア次第でいろいろ使えるおいしいクリームです。

火山を楽しむことは 防災にも通ずる



霧島ジオパーク公式キャラクター キリツチ



霧島ジオパーク小林宣言

Kirishima Geopark

ジオパークとは
ジオパークとは、科学的に見て特別に重要で貴重な、あるいは美しい大地の遺産を複数含む一種の自然公園です。ジオパークの取り組みは、火山・地震活動でできた地形あるいは太古の津波を記録した地層といった地球の歴史が刻まれた大地の遺産を守るとともに観光や教育に役立てることにより地域社会を活性化するという活動です。



講演：藤井敏嗣氏
・火山噴火予知連絡会 会長
・東京大学名誉教授

5月13日、小林市文化会館で火山防災・復興フォーラムが開催され、藤井敏嗣東京大学名誉教授の講演やパネルディスカッションなどが行われました。

霧島ジオパーク小林宣言

フォーラムでは新燃岳噴火と今後の霧島ジオパークの将来について「去年9月14日に日本ジオパークに認定されました。自然はその素晴らしさや恵みだけではなく、時として大きな災いをもたらします。環霧島地域で暮らす人全員で力を合わせて頑張っていく」といった内容の霧島ジオパーク小林宣言が行われました。

的確な理解と知識を

藤井名誉教授が新燃岳の今後の予想について「地下のマグマ溜まりには以前蓄積していたマグマの一部が残っており、現在も蓄積が継続している。過去の事例に学べば1回で終わることはないと思われる。時折、爆発的噴火を起す。大きな噴石を飛散させたり火山灰が落下する恐れもあります。火山というものは必ず噴火するもの。その中で火山に対して的確な理解や知識を身につけハザードマップや防災マップを確認しておく必要があります」と講演しました。

火山と共に

パネルディスカッションには都城市長や観光・防災関係者ら6人の方々がパネリストとして参加しました。新燃岳が噴火したことまで以上に住民の関心が高まった霧島パネリストからは「子どもなど地域の方がジオパークを学ぶことで防災に対する知識が増したり、地域の活性化につながっていく、ピンチをチャンスにかえ官民一体となり絆を深める時だ」と霧島ジオパークに寄せる熱い思いが語られました。



パネルディスカッションの様子

夕暮れどき、昼間より広く感じるグラウンドにボールを打つ音が響きます。福山中学校野球部の部活動の時間です。

福山中野球部は昨年4月に開催された県中学校春季選抜野球大会で、たった10人の部員ながら見事に優勝し、私たちに大きな感動を与えてくれました。ほとんどが3年生だったので、現在残った部員は当時2年生だった新原弘樹君ただ一人です。

「去年は、これが福山中野球部として最後の大会になるかもしれない、という思いがあり、大会に向けて必死に練習しました。優勝という結果は予想以上で、野球をしてきて一番うれしかったです」と新原君は目を細めます。



福山中の大脇耕一監督からバッティングの指導を受ける

人の風景

THE SCENE

霧島に生きる

小学校2年生から野球を始め、野球が大好きな新原君は、「先輩が引退して一人になっても、どうしても野球を続けたかった」と言います。一度は廃部も検討された野球部。彼の野球にける強い思いが学校に存続という決断をさせました。それから約2カ月間、貸し切り状態の夕方の校庭で監督と二人、トスバッティングや壁を相手に守備練習などに励みました。

そんな新原君に朗報が入ります。陵南中学校（溝辺町）の野球部が受け入れを認めてくれたのです。彼の頑張りを見ていた監督や先生方が「試合をさせてあげたい」といろいろな学校にお願いし、実現しました。それからは車で40分かかる陵南中に通い練習に参加、行けない日は福山中で監督と二人、練習しています。

「違う学校の部活動に一人で参加することは、はじめはとても不安でした。でも、野球をやりたいという気持ちの方がずっと大きかった。自分のために環境を整えてくれた両校の監督や先生たち、陵南中への送迎してくれる両親、温かく迎えてくれた

支えてくれる全ての人に感謝

たった一人の福山中野球部

だけど僕は独りじゃない



陵南中野球部のみんな。たくさんの人に感謝の気持ちでいっぱいです」

今、福山中は野球部員の募集はしていません。昭和50年代にできた野球部の30年もの長い歴史の中で、新原君が最後の部員になる可能性もあります。「春休みに福山中で練習していたとき、3月に卒業した先輩たちが集まり、練習につきあってくれました。その思いが本当にうれしくて励みになりました。福山中野球部の歴史が幕を閉じるのかと思うと寂しい気持ちもありますが、先輩たちの思いを引き継いで、これからもその伝統と誇りを大切にしていきたいです。僕は『福山中野球部代表、陵南中野球部員』です」と力強く話す新原君。今の目標は県大会出場です。

「これが中学最後の試合。今野球を続けられるのは多くの人たちの協力のおかげです。初めはただ野球が好きという一人の思いでしかなかったけど、周りの支えが自分を動かす力になっていきます。僕は一人じゃない。支えてくれる全ての人に感謝して、みんなの気持ちに込めるためにも精いっぱい頑張ります」

霧島市にはいろいろな環境の中でそれぞれ頑張っている児童、生徒がたくさんいます。ひたむきに頑張る姿は私たちに元気や勇気を与えてくれます。霧島の未来を担う子どもたち。その明るい未来に期待し、頑張る全ての子どもたちに温かいエールを送ってください。



陵南中野球部の一員として県大会出場を目指す新原君（前列右から4番目）



陵南中の三園和彦監督から指導を受ける（右から2番目）

Profile



新原弘樹君 (15)

福山町福山。父政博さんと母いづみさんの次男として生まれる。小学校2年生から野球を始め、現在福山中学校野球部員として野球を続けている。6月下旬の県大会地区予選に向けて猛練習中。

INTERVIEW



川原地区自治公民館長
上村和人さん (63)

6年前に帰ってきました。両親の仕事の都合で川原を出たのは私が3歳くらいでしたから何も覚えていません。その後、両親は帰郷し、私は徳島県で会社勤め。両親の元に帰るたびにおじさんたちの飲み方が楽しくて。本当にいいところです。でも館長としては高齢者が多く災害時などは心配です。地域を守る消防団員の皆さんを頼りにしています。



霧島市消防団国分方面隊 第7分団長
永野明さん (52)

私たち消防団は普段から消火栓や防火水槽などを点検しています。どこに何があるのか、誰がどこに住んでいるのか、地域のことを知らないといざというときに役に立ちません。消火活動も大事ですが火事を出さない予防消防に努めています。団員は仕事を持ちながら消防団だけでなく、祭りや運動会など地域でも中心的な存在です。



川原婦人防火クラブ
宮田信子さん (54)

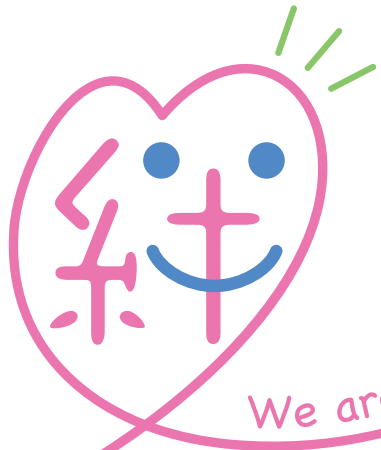
約20年前に防火クラブの人に誘われて入りました。若い人たちもいたし、地域のために少しでも力になればと思いました。15年ほど前の山火事では消防団員が消火作業、私たちはお茶や弁当の準備などをしました。住宅用火災警報器が6月から義務付けられましたが、私たちも消防団と一緒に設置を呼びかけ、川原地区の設置率はほぼ100%です。



自己紹介をする新入団員の脇祐輔さん



独居老人宅で消火器の使い方を説明する消防団員



We are linked by a strong mind

「みんなを守りたい」「頼りにしています」

地域を守る絆

守ろうとする思いがそこにはありました。

消防の任務

消防団は万が一に備え、訓練し、消火に使える水利がどこにあるか、どこに誰が住んでいるのか、消防車やその他の機材の点検など日々の努力を怠りません。

市消防団の団員数は1153人。昨年度の出動回数は火災23回、風水害18回など338回、延べ9834人の団員が出動しています。

川原部では15年ほど前の不審火による山火事で夜中に出勤。懸命の消火作業で延焼を最小限に抑えました。その時には家庭の母親らで組織された川原婦人防火クラブがお茶

や弁当を手配するなど消防団をサポート。地域全体で災害時の協力体制ができています。

地域のために「とまわり」

同部が管轄する川原地区は、車で国分駅から東へ向かい名波ハイタウンを過ぎて約15分。一山越えた検校川沿いに棚田が広がる山間の静かな集落。

過疎化が進行している地域で高齢者の割合が高く、団員も年齢層が高いのが実情。昭和62年、消防団に入団した上村俊行さん(60)は、中学卒業と同時に大阪で就職。その後、帰郷。一年間は仕事を

見つける毎日。「ここは仕事もないし、家にも何もすることがない、また都会で仕事を探そう」と考えていた時

に消防団への誘いがありました。「同じ年くらいの人が消防団員としてこの地域で頑張っている。自分も川原で生きていこう」と決心。団員は夏祭りや運動会などいろいろいるところで中心的な存在でした。

その上村さんは8年前、足を痛め、思うように活動ができなくなり、思っていました。「自分のできることはないか」と火災予防のために消防自動車月に1回、広報活動をしていきます。ここ数年は広報活動のおかげもあり、火災は起きていません。

川原地区自治公民館長の上村和人さんは「団員が広報したり、住宅用火災警報器を取り付けてくれたり、高齢者の



霧島市消防団国分方面隊第7分団川原部の団員は16人。同部の例会で、東日本大震災で住民を津波から避難させるために命を落とした消防団員のことが話題になりました。自分たちがその場にいたらどうだったか。「消防団の任務だから同じ行動をしたと思う」と一人が言いました。「自らの郷土は自ら守る」という消防団員としての使命感を見た思いがしました。板川内川で平成16年8月の豪雨時、住民の一人が川に流され、助けようとした同じ第7分団の本戸部(現在の木原部本戸班)の部長が住民と一緒に川に流され殉職。市民を

多いこの地域では助かりました」と信頼を寄せます。

待ちに待った新入団員

今年4月、市消防団の中でも一番若い団員が同部に入団しました。脇祐輔さん24歳。「のどかな川原が好きだからここにずっと住みたい」と言う祐輔さんは、同部の団員でもある父親の公年さん(57)に勧められるままに入団。公年さんは「地域のためにも入団してくれてうれしい。もっと若い団員が入団してくれたら」と話します。

部長の蔵元高浩さん(47)は「これからも予防消防に努めながら地域のために頑張ります」と誓い、地域の人もともに川原を守っていきます。

郷土史への扉



近世後期の正興寺(「三国名勝図会」より)

正興寺のお坊さん

宗)があり、いずれも正八幡宮の正の字が付きます。江戸時代までは神様と仏様が一体だったので、神官と僧侶はともに仕事をしていました。

とというアジア征服の野望の第一歩として、朝鮮に攻めて行った文禄・慶長の役がありました。朝鮮側では発生した年の干支で、壬申・丁酉の倭乱と呼ばれています。一五九二年と一五九七年の二度朝鮮に攻めていきました。小西行長(秀吉に仕えたキリシタン大名)や虎狩りで有名な加藤清正、それに島津義弘(島津家十七代当主)も参加しています。秀吉は肥前に名護屋城(佐賀県西町)を築き拠点とし、全国の大名を集められ、それぞれ陣地を造っています。

それより数年前の一五八六年、島津氏は豊後の大友宗麟を攻めて九州支配の寸前までいきました。大友氏の拠点、府内(今の大分県)はその時焼かれています。しかし、島津氏は翌年、豊臣の大軍に負けてしまいました。そのため、文禄・慶長の役には島津氏としては義弘が参加したものの、内心では非協力的でした。特に兄の義久は許儀後という明人がブレンでしたので、なおさらです。

倭僧玄龍

その文禄・慶長の役の時、薩摩と明が合力して、秀吉を討ち取ろうという計画があり、大隅半島の内之浦に明の工作船が入りしていました。その際、明人と交渉したのが、玄龍という正興寺の僧侶です。

寺の僧侶であったことが、中国の福建省の人が書いた「敬和堂集」という記録に出てきます。この「倭僧玄龍」が四十代の雲叔和尚か四十一代文之和尚なのかはまだ分かっていません。「玄龍」の名前は、島津義久の家老、上井寛兼の日記にも登場しています。

明人たちは、名護屋城の様子を見に行ったり、本国に情報を送ったりしたようです。それがばれてしまい、怒った秀吉が釜ゆでにしようとした時、徳川家康が仲介し、やめさせたといわれています。

明と薩摩の合力計画は、福建の長官が中央政府に取り次がなかったため、結局実現しなかったのですが、この動きを徳川家康も黙認していたことが中国側の文献から窺えます。

禅宗系のお坊さんたちは、貿易に携わるなど、国際的に活躍していたことが明らかとなっています。室町幕府が派遣した遣明船の責任者もお坊さんでした。正興寺のお坊さんたちも国際的な働きをしていたと思われる。

文責 Ⅱ 重

※廃仏毀釈：仏教を排除しようとする政策や行動のことで、鹿児島では仏教寺院や仏像が多数壊された。

正興寺 隼人町の宮内地区に、鹿児島神宮(大隅正八幡宮)に関係の深い正興寺というお寺がありました。鹿児島神宮と鹿児島神社のほぼ中間、現在の宮内原水路沿いにある墓地付近がその跡地と考えられています。明治維新の時の*廃仏毀釈で壊されており、はっきりとした場所は不明です。禅宗系の臨済宗のお寺で、本尊は釈迦如来、大隅正八幡宮の三ヶ寺の一つです。三ヶ寺としては他に正高寺(真言宗)・正国寺(律

正興寺

歯の健康

HEALTHY LECTURE

やさしい健康講座

すこやか保健センター
吉窪 博子



からだの健康は歯と歯ぐきから

中高年の8〜9割が歯周病

霧島市では、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の方を対象に無料の歯周疾患検診を行っているのをご存知ですか(対象者には通知)。中高年の歯周病にかかる割合は8〜9割ととても高いのですが、検診受診率は全体の1割程度でとても低いのが現状です。この機会に健診を受けて歯周病の治療や予防につなげてください。

歯周病とは

歯周病とは、歯と歯を支える歯ぐき

ブラッシングの重要ポイント

磨き残しが多いところ

- ①歯と歯ぐきの境目、歯と歯の間
- ②奥歯の後ろ側、奥歯の噛み合う面
- ③前歯の裏側

歯ブラシの当て方



歯と歯ぐきの境目 歯の外側 前歯の裏側

歯周病は予防こそが命

高年齢になると、食べ物がかみにくくなったり、ものが飲み込みにくくなったりするなど、その機能が衰えてきます。日々の「歯つらつ体操」で、健康に、楽しくハツラツ人生を満喫しましょう。

「歯つらつ体操」



歯周病の人は血糖値が下がりにくい

や骨(歯槽骨)におこる病気で、原因は歯垢の中の歯周病菌です。

歯周病と全身との関係

歯周病によって歯周組織が破壊されると、歯周病菌は血管を通して体内に入りやすくなります。

歯周病菌は血液を通して全身を巡りさまざまな影響を及ぼします。心臓血管疾患、糖尿病、肺炎、低体重児出産、骨粗鬆症などのリスクを高めることがわかってきました。歯周病予防がこれらの生活習慣病予防にもつながります。

お口の元気に歯つらつ体操

食前が効果的!
「唾液腺マッサージ」で健康度アップ!!



お口の機能をアップする!
ハツラツ「顔面体操」!!



十分息を吸ってからそれぞれ約10秒実施。3回繰り返します。

つけ歯科医院で1年に2回は定期健診を受けましょう。
◎問 Ⅱ 健康増進課 ☎(64)0905

食中毒予防について

4月下旬に富山・福井両県の焼肉チェーン店で腸管出血性大腸菌O111による食中毒事件が発生しました。調査の結果、患者の方々はユッケ(生肉料理)などを食べており、溶血性尿毒症症候群(HUS)により亡くなられた方もいます。梅雨時期から夏にかけては食中毒の発生しやすい季節になります。抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は注意が必要です。食中毒予防の3原則「菌

をつけない、菌を増やさない、菌をやっつける」を生活の中に取り入れましょう。

●菌をつけない
調理の前後、肉・魚・卵に触れた後、外出やトイレの後には特に手洗いを念入りにする。はしを介して感染しないために、「肉を焼くはし」と「食べるはし」は使い分ける。また、肉・魚を扱った後の調理器具は特にしっかりと洗う。

●菌を増やさない
作った料理は早めに食べて、残った場合は室温の状態では

くおらずに冷蔵保存する。また、冷蔵庫は詰めすぎず、ドアの開閉も少なめにする。

●菌をやっつける
食品は中心までしっかりと加熱し、(中心部の温度が75℃で1分以上の加熱が目安)残り物も十分に加熱する。

◎健康増進課 ☎(64)0905

として発足しました。平成17年度に隼人保健所と加治木保健所が統合され、始良保健所が開所したことから、名称なども新たに、今年40周年を迎えることができました。

今後、施設間や関係機関、地域との連携を深め、当協会活動を今まで以上に盛り立てていくために、記念講演会を企画いたしました。たくさんのご参加をお待ちしています。

日時 6月25日(土) 午後

2時30分～4時30分
場所 国分シビックセンター多目的ホール

内容 「健康」を考える
・講師 小野章史さん(川崎医療福祉大学教授)
・申込 代表者の名前、連絡先電話番号、申込人数を記入してファックスで送信してください。

◎ファックス送信先 有馬病院・西田 Ⅸ(56)2151
◎霧島杉安病院・是枝 ☎(57)1221

霧島キャンプ場情報

霧島市は海あり山あり豊かな自然に囲まれた素晴らしい環境に恵まれています。

国分キャンプ海水浴場や霧島高原国民休養地など地元の自然環境を生かしたさまざまなキャンプ場など、たくさんの施設が他にもあります。これからの夏本番。家族・友人・グループなどで、澄み切った霧島の大自然の中でアウトドアを満喫してみませんか。

◎霧島市内のキャンプ場情報

名称	国分キャンプ海水浴場
住所	国分下井洲崎
利用期間	7月1日～8月31日 休館：原則月曜日、年末年始(夏場7・8月は無休)
申込・問い合わせ先	国分キャンプ海水浴場 ☎(45)1550
用具名称	バンガロー/テント

名称	黒石岳森林公園
住所	国分川内4227-48
利用期間	通年 (毎火曜日休業・年末年始12/29～1/3)
申込・問い合わせ先	黒石岳森林公園管理事務所 ☎(49)3688
用具名称	バンガロー/テント

名称	高千穂河原キャンプ場
住所	霧島田口高千穂河原
利用期間	7～8月(その他の期間は要予約)
申込・問い合わせ先	9～6月 高千穂河原ビジターセンター ☎(57)2505 7～8月 高千穂河原キャンプ場 ☎(57)0996
用具名称	テント

名称	霧島高原国民休養地
住所	牧園町高千穂3311-25
利用期間	通年
申込・問い合わせ先	霧島高原国民休養地 ☎(78)2004
用具名称	テント/ オートキャンプ：キャンピングカー、乗用車など

名称	バンガローこもれびの里
住所	横川町上ノ3590-3(丸岡公園)
利用期間	通年 (休館：9月1日～翌年6月30日までの火曜日)
申込・問い合わせ先	丸岡さくら館 ☎(64)6056
用具名称	バンガロー

名称	霧島緑の村
住所	霧島田口2583-13
利用期間	通年 定休日：火曜日
申込・問い合わせ先	みどりの村 ☎(57)0364
用具名称	バンガロー

※ご不明な点につきましては、各施設へ直接お問い合わせください。
問い合わせ時間：9:00～17:00
また、市ホームページにも掲載しています。

第4回霧島市民音楽祭

「第4回霧島市民音楽祭」をみやまコンセールで開催します。

市内で活動する音楽団体をはじめ、霧島国際音楽祭関連アーティストで国内外で活躍している指揮者の海老原光さんやトランペット奏者のアレクセイ・トカレフさんが参加します。

ゲスト演奏者との共演や、フィナーレでの出演者と観客が一体となった市歌の合同演奏

奏など、素晴らしい合奏と歌声がみやまコンセールに響き渡ります。ぜひ会場で、素晴らしい音楽を、お楽しみください。

※地元特産品の販売も行います。

日時 7月18日(月)【海の日】午後2時から

会場 霧島国際音楽ホール(みやまコンセール)

参加団体 国分西小学校(金管バンド)、陵南中学校(合唱)、鹿児島工業高等学校(吹奏楽)、コール

隼人(合唱)、国分ハーモニカ・ドリーム(ハーモニカ)、ジャズ・イズ・イン・マイ・ライフ(ジャズ)

ゲスト出演者 海老原光(指揮者)、アレクセイ・トカレフ(トランペット)

入場料 無料(入場整理券が必要です。国分シビックセンター内は総合案内・互助会・国分教育総務課、文化振興課、教育委員会各出張所などに置いてあります)

◎文化振興課 ☎(42)1119



ゲスト演奏者との共演(昨年)



フィナーレでの合同演奏(昨年)

子育て支援センターへようこそ

親子で遊びたいとき、お友達に会いたいとき、おしゃべりしたいとき、子育てで困ったとき、育児の情報を知りたいとき、ぜひ、お気軽にご利用ください。たくさんのお友達と触れ合い、親子で遊びを楽しみながら子育ての輪を広げていきましょう。さあ勇気を出して、はじめの一步。

◎霧島市こどもセンター ☎(45)4920

霧島市地域子育て支援センター

場所：霧島市こどもセンター内
住所：国分福島一丁目25番1号 ☎(45)4920

事業名・対象	開催日時	場所・住所	内容
絵本の部屋	毎週月曜日 10:00～11:30	場所：霧島市こどもセンター 住所：国分福島一丁目25番1号	親子で絵本の時間を楽しくてください。読み聞かせの時間があります。
はじめてサロン	毎週月曜日 13:30～16:00		親子の交流や情報交換。まずはサロンの雰囲気を感じてください。
赤ちゃん集まれ	毎週水曜日 10:00～11:30		赤ちゃんたちの出会いの場です。赤ちゃん遊びの紹介、絵本の読み聞かせ、リズム遊び、わらべうたなど。
お部屋の開放	毎週水曜日 13:30～16:00		お部屋を親子に開放し、自由に遊んでいただく時間です。
子育て相談	毎週木曜日 9:00～16:00		電話や面会での相談をしています。※面会は予約制
赤ちゃん広場	生後6カ月まで	第3金曜日 10:00～11:30	赤ちゃん、みんなどうしているのかな？おしゃべりしてみませんか？親子の交流や情報交換にご利用ください。
	生後7～12カ月	第4金曜日 10:00～11:30	
みんなの広場	未就学児	第1・3火曜日 10:00～11:30	親子で一緒に遊びながら友達づくりの場です。お気軽に参加してみてください。

その他の地域子育て支援センター

委託先保育園	住所	電話番号	活動内容
照明保育園 子育て支援センター(照明保育園内)	溝辺町麓2560	☎(58)3005	各園とも子育て相談や子育てサークルの育成、支援などをおこなっています。詳しくは、各園にお問い合わせください。
安良保育園 子育て支援センター(安良保育園内)	横川町上ノ4503-1	☎(73)2371	
霧島保育園 子育て支援センター(霧島保育園内)	霧島田口807	☎(57)1482	
牧之原保育園 子育て支援センター(牧之原保育園内)	福山町福山4930-2	☎(56)2862	

8 9 9 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 (_____) _____ - _____

おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの周りであった身近な出来事や話題など、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださった方の中から「湯けむりガイド」本と焼酎「日當山」を5人の方にプレゼント。応募締め切りは6月20日(月)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。

霧島市役所
秘書広報課 行
(No.122/2011.6)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



グロキシニア(イワタバコ科)

Readers Voice

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



先

日、道路脇の花壇に「盗んだ花で心は癒やされず」の看板を見ました。実はわが家も長年に渡り、庭木や花を盗まれて同じことを思っていました。父の闘病生活で心の余裕がなく一生懸命に生きていた。悪人困っているときほど付け込んでくるようです。被災地での心ない犯行や詐欺は本当に許せません。でも、それ以上に助け合う人々に感謝を受けました。自然の美しい霧島に生まれたのですから少しでも誰かを癒やせる人になりたいと思う今日このごろです。(ゆかりん33歳女性)

去

年7月の大洪水・土砂災害の復旧工事があちこちで継続中です。手籠川沿いの河川(テロック積み)や田んぼの工事を見ながら胸がホツとします。個人のがけ崩れなどは自己管理ですが、集落の皆さんと使う水路が田植えに間に合えばと折りながら週末は復旧に精を出しています。(M・T61歳女性)

以

前も毎月素朴な写真で表紙が作られていて、私は切り抜いて額に入れて飾っていました。美しい緑の棚田、鮮やかな彼岸花など楽しみました。今も素朴な写真ですが私的には額に入れる気になれず自分では撮れない写真、行ったことのない風景写真など今では懐かしいです。毎月来るかと思えば保存しなかったのが悔やまれます。ま

私

たちの霧島小学校には逆錘太鼓という立派な太鼓があり毎週水曜日に稽古をしています。部員は15人です。そのために、私たちがその後輩たちに太鼓を指導してくださる方を募集しています。(霧島小学校逆錘太鼓部員9歳女性)

宮

城島仙台市から神の宿る霧島に転居し、半年後の東日本大震災。震災した友人から「着替えがない」のSOS。急ぎ霧島リゾート前自治会長をはじめ多くの皆さまから物資提供いただき、30箱を宮城県気仙沼市に送りました。5日後に「届いた」と涙のお礼の連絡を受け、「今は何もお返しすることができないのが悔しいが、皆さまに支えられて前に進む気力だけはできました」と伝言を依頼されました。協力いただいた皆さまにお礼申し上げます。(相澤浩子54歳女性)

私

のマンションは子どもだらけで私も含め数人の方がごみを拾ったりしています。私自身子どもがいますが、

昨

年、一軒家に引っ越ししました。冬の引越で庭の雑草など気にもなりませんでした。今草取りをしても、しても追いつかない状態。子どもが小さいので除草剤をまくのはいやだし。草をみつけては草取りをしています。でも、雑草にも時期というのがある。2、3週間前とは違う雑草が生い茂って「あら、また、新しい草」なんて楽しんでる自分がちよっぴりいます。家庭菜園や花でも植えれば草取りも楽しくなるような気がしますが。何かいいアドバイスがありましたら教えてください。(3人ママさん40歳女性)

霧

島公民館定期講座の家庭料理講座に誘われ受講することになりました。月1回6月からの講座が楽しみです。習ったものを家庭でも作っていったらと思います。広報きりしまの「読者の声」やいろいろな情報がありこれからは

こ

ごみ拾いかあさんのように考え方一つで気持ちも変わります。親の背中を見て子は育つ。私は大丈夫だろうか。反面教師という言葉もありましたね。

こ

の本とってよかったです。買ってくださったありがとうございます。先日、図書館で新刊本を借りて返却するときに、職員の方におかけした言葉です。静かに過ごすのが原則の場所なので、あまりおしゃべりはできないのですが、いつも私たちのために本の世話をしてくださっている皆さまにお礼申し上げます。図書館の業務についても質問し、快く教えてくださりうれしかったです。ちまたでは本のソムリエも登場する最近。貸出業務だけでなくもっと皆さんと本・読書にまつわるお訪ねもしたいと思っています。(M・K49歳女性)

こ

読書は心の栄養です。ご希望の本がM・Kさんの栄養になったのです。これからは

生まれも育ちも種子島、そんな私がこの隼人に縁あって住むことになってから5年目を迎えました。人生には何度か転機があり、そこには「人と人の縁」をいつも感じています。

今から数十年前、結婚を機に神奈川県横浜市に住み始め、生涯この横浜で過ごすものと思っていました。主人も私も定年を迎え、第二の人生を始めようと思った矢先、息子から「鹿児島で飲食店を開業したいので横浜には戻らない」と話を受けました。聞けば私たちの田舎である種子島でスーパーを営んでいるオーナーさんから隼人にある、お店を譲り受けること。知人・友人のいない町で心配したものの息子の決意は変わら

ころ、主人が50年前にお世話になった自衛隊基地が近くにあり、息子が15年前にプロレスの仕事に携わっていた時に訪れていた場所でした。今は亡くなってしまった私の母親がよく湯治に来ていた場所でもあったのです。そんな縁やゆかりのある隼人は住めば都



威風凛々雄々しい大木(鹿児島神社)

第二の人生 最高の地 隼人

◎牧瀬 キヌエ

とはよく言ったもので、大好きな温泉があり四季折々の自然を肌で感じる事ができるこの場所がすごく気に入っています。主人も大好きなゴルフを通じて地元の方々と親交が深まり、時々わが家で飲み会を開きますが、種子島の言葉とは

違ふ鹿児島弁が途中、全く分からず笑いながらいつも通訳をしてもらっています。また、裏庭に現れる野生のイノシシ親子。普段の生活の中で、まさか野生のイノシシを見ることなんてないと思っていただけに、ちょっとビックリ。これも自然が豊かな隼人ならではですね。先月も5月の連休に私の妹が4歳の孫を連れて遊びに来た際に近くの公園や高原など自然に恵まれた場所を遊びまわり、えびの高原で昼食。4歳の孫は、シカを見て大はしゃぎでとても楽しそうでした。

Profile



マキセ キヌエ (67)
種子島(西之表市)出身。平成18年に横浜から隼人に引っ越し、第二の人生をスタートさせる。現在は、息子が経営する「鎌倉」を時々手伝いながら、裏の畑で花や野菜を育て、温泉やウォーキングを楽しむなど充実の日々を過ごしている。

霧島市携帯サイト



携帯電話からも、霧島市の情報をご覧ください。パソコンをお持ちでないかたも、インターネット接続可能な携帯電話を利用して、霧島市ホームページの情報の一部を検索できます。

◎人口 / 128,007人(+520)
男性 / 61,770人(+482)
女性 / 66,237人(+38)
出生 73人 / 死亡 106人
転入1,609人 / 転出1,071人
◎世帯数 / 58,388世帯(+758)
(平成23年5月1日現在)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



お便りをくださった方の中から
日当山温泉郷周辺のお店を紹介。クーポン券付きの「湯けむりガイド」本と焼酎「日当山」をプレゼント。

市内の書店などで販売している「湯けむりガイド」本。中には歴史、日帰り温泉、温泉宿、食事処や夜のお店、その場所が記されたマップ。各お店で使えるお得なクーポン券が付いています。焼酎は鹿児島県産紅サツマを使用、フルーティな味わいの「日当山」。
◎本の問い合わせ先=日当山温泉旅館組合(清姫温泉内) ☎(42) 0607、明屋書店隼人店 ☎(43) 5100、ブックセンターリリーズ国分店 ☎(48) 8777



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。

今月の表紙



福山から見た鹿児島湾
5月19日 午後6時11分
【撮影データ】
デジタルカメラ レンズ18~200mm
F3.5~5.6 1/1000 F7.1 ISO400

夕方、福山海岸から見た鹿児島湾。写真中央に見える島は、「神が造った島」といわれる神造島です。4月、福山沖ではクジラが発見され、その海底ではレアメタルが確認されるなど、鹿児島湾は神秘と魅力が詰まった海です。そして茜色に染まる海と空、見ているだけで癒やされるこの美しい光景も守らなければいけない、ふるさとの風景です。

陵 南中学校の2年生が溝辺の特攻隊の歴史を学ぶ。昨年の広報誌8月号での特集がきっかけと聞き、本当にうれしかった。11月には学んだことを文化祭で発表予定。歴史を伝えることは難しいが、特攻隊の歴史は陵南中の生徒がしっかりと次の世代に受け継いでくれるはず(み)

国 分川原地区の消防団の取材に行きました。市役所から車で15分足らず、そこはまるで別世界。気温もなんだか涼しく感じます。集落の入口にはごみを捨てないようにと「ノーポイロード」の看板、道路脇に植えられた花々。川原を愛する人々の気持ちが伝わってきます(た)

福 山中の校庭を一人で走るときも、陵南中で仲間と本格的な練習をするときも、新原君の中にある「野球が好き」という気持ち。取材を通して大切な事を思い出した気がした。スポーツでも勉強でも趣味でも「好き」と思えることを頑張ってください。私も好きから始めよう(う)

広 報誌の編集が終わり、家に帰宅すると娘と妻は入浴中。すると「子どもが自分の鼻にばんそうこうを入れて出てこない」と大騒ぎ。慌てて広報誌で夜間救急診療所を調べ病院へ向かう途中、娘が大きなくしゃみをしてばんそうこうが飛び出してきた。あ〜ビックリした(は)

市長コラム 前田終止

広報力は地域力

県の広報コンクールで、昨年発行された自治体広報誌の中で広報きりしまが広報紙、一枚写真、組み写真の部で特選を受賞。ウェブサイトの部門でも市ホームページが特選を受賞し、全部門で霧島市が特選を独占しました。これら受賞作品は全国広報コンクールに進み、先ほど行われた審査で、昨年7月号の口蹄疫特集が広報紙組写真の部で第1位の総務大臣賞(特選)、広報紙の市の部で8月号が第3位となる2席になりました。全国コンクールでは5年連続の入賞です。この連続受賞は作成に当たり助言をいただいた広報アドバイザーや「読者の声」に寄せられたご意見に学び力に換えてきた担当者はもちろんのこと、点訳や音読のボランティア、広告提供事業者、広報誌を配っていただく自治会長さん、班長さん、店頭配布に協力していただいた地域のみなさんによる受賞です。広報誌は市税の領収書だと思えます。広報は地域力として絆。これからもさらに磨きをかけてまいります。